



CLUB BULLETIN

R. I. 第 2530 地区

いわき勿来ロータリー・クラブ

会長 木幡 智清
幹事 星 行夫
SAA 高萩 勝利
会報小委員長 今泉 敏徳

○例会日 毎週水曜日 (12:30 ~ 13:30) ○事務局 TEL/FAX (0246) 56 - 3473
○例会場 ホテルミドリ E-mail:info@iwakinakoso-rc.jp

第 2799 回 例会 令和元年 12 月 11 日 (水・曇)

2019 - 20 年国際ロータリーのテーマ

ロータリーは世界をつなぐ

ゲスト

米山奨学生 朴相俊 (パク・サンジュン) さん

会員卓話 中野 光 会員

ロータリーソング 奉仕の理想

ー今月は疫病予防と治療月間ですー

ロータリーの行動規範
影山 晴康 会員



◎会長報告ー木幡智清会長

皆さん、こんにちは。先週のクラブ総会は皆さんのおかげで滞りなく終了することが出来ました。ありがとうございます。今年も早いもので1年が過ぎようとしています。私の年度も何がなんだか分からない内に半年が過ぎます。まだまだ、先が長いですが今後共皆さんのご協力を宜しく申し上げます。最近では寒暖差が大きくなっていますので風邪等ひかないようにお願いします。そして、来週はクリスマス家族例会ですので宜しくお祈り致します。

◎米山奨学生ー朴相俊 (パク・サンジュン) さんへ

奨学金贈呈

米山奨学生朴相俊さんへ奨学金をお渡し致します。木幡会長、朴君前の方へどうぞ。皆さん、



こんにちは。朴相俊です。先々週米山奨学生体験発表会が郡山で行われました。僕は唯一の韓国人で



たので後輩と一緒に韓国料理を紹介しました。昨年はキムチチャーハンを50人分作り大変でした。今回は韓国の海苔巻きを作りました。皆さんに好評で一番早く無くなりました。発表は「私が考える日韓関係」をテーマに発表させていただきました。残り3ヵ月も頑張りますので宜しく申し上げます。

◎幹事報告ー星 行夫幹事

・只今回覧中の物を紹介します。国際ロータリーよりロータリーリーダーシップ研究会のセミナーご案内が届いています。RLI研究会で出席希望の方は会長へご連絡下さい。

・本日例会終了後に理事会がありますので理事者の皆さん宜しく申し上げます。

◎各委員会報告

◇出席委員会ー佐藤政司小委員長

本日の出席状況は下記の通りです。なお、本日は出席奨励賞をお渡し致します。私佐藤と生駒会員、木幡会長前の方へどうぞ。おめでとうございます。



◇スマイルボックス委員会

ー富岡幸広副委員長

・風邪対策で外出時うがい手洗いを忘れずに。富澤、富岡、生駒、渡邊 (貴)、吉野、中野、清水、高萩、畠山、小澤、赤津 (善)、荒川 (義)、影山、藤田、佐藤 (政)、川口、蛭田、木村 (義)、渡邊公平パストガバナー、荒川 (清) 各会員及び木幡会長、嵐副会長、星幹事、細田副幹事

・出席奨励賞ありがとうございました。

佐藤 (政)、生駒各会員及び木幡会長

・本日早退ごめんなさい。 今泉会員
・前回休んでごめんなさい。 根本会員

◇親睦活動委員会ー荒川 清小委員長

皆さん、こんにちは。いよいよ来週18日クリスマス家族例会が迫って参りました。今回総勢80名で開催したいと思います。本当にご参加ありがとうございます。本日までバザーの景品が少し足りないようです。当日でよろしいのでご協力を宜しく申し上げます。18日18時からですので時間を間違えないようにお願いします。

◎会員卓話ー中野 光会員

木くずのカスケード利用

皆さん、こんにちは。遠野興産の中野です。本日は木くずのカスケード利用について話しをしたいと思います。



主な事業内容は、産業廃棄物処理業 (木くず・繊維くずの中間処理<破碎>及び収集運搬)・一般廃棄物処理業 (木くずの中間処理<破碎>及び収集運搬)・木材の製材及び販売業・木材チップの製造及び販売業・粉碎バーグの製造及び販売業・オガ・チップダストの製造及び販売業・荷役業・木質ペレットの製造及び販売業・木質ペレットストーブの販売業です。バイオマスやエネルギーは使用することで性質・形状などが変化します。品質レベルに応じて何度も利用する→カスケード利用。バイオマスとは、再生可能な、生物由来の有機性資源で化石資源を除いたものです。太陽エネルギー、水、土、空気これらを使って再生できる資源であるため、燃料としても使用しても二酸化炭素の増減はないものとされる。

木質バイオマスエネルギーの燃料特性

◆木質バイオマスエネルギーは、「薪」、「ペレット」、「チップ」の3種類に分けられる。

【各エネルギーの特徴】

薪 製造が容易・かさが高い・乾燥が不可欠・火力調整が難しい・自動供給が困難 (小規模燃焼に適)

ペレット 特別な製造装置と技術が必要・形状寸法がほぼ一定・乾燥燃料 (M≤10%)・高いかさ密度 (BD>650kg/m³)・ハンドリング性良・自動供給が容易・火力調整が容易 (小~大規模燃焼に適)

チップ 製造は比較的容易・形状、寸法が多様・広い水分分布 (M:20~60%)・低いかさ密度 (BD<300kg/m³)・自動供給が可能・細かい火力調整不可・燃焼装置が複雑、大型 (中~大規模燃焼に適)

間伐材等由来の木質バイオマスエネルギー

利用量の推移

◆間伐材等由来の木質バイオマスのエネルギー利用

量は、急速に増加し、平成28年には432.9万m³に達している。

◆大きな要因として、発電所における利用が挙げられ、木質バイオマス発電所が10ヶ所以上稼働した平成27年、28年は前年から100万m³前後増加した。

木材供給量と自給率

◆木材供給量は、平成7年以降、年々減少し、一時は、ピーク時の5割強まで落ち込んだが、近年は増加傾向で、平成26年は約7万5000m³までに回復した。

◆国産材の供給量も同じく、昭和60年以降、年々減少していたが、平成17年以降増加。

◆近年、国産材の供給量は下げ止まり傾向にあり、木材供給量全体の減少に伴い、自給率は改善傾向。平成26年度の自給率は31.2%

木質ペレット製造工程・プラント紹介

当社の木質ペレット製造工場は、環境省による補助事業「環境と経済の好循環のまちモデル事業」により建設されました。

この工場で生産される木質ペレットには、原料として、いわき市内の森林から出た素材、特に通常木材として利用されにくい曲がり材や傷のある材も使用できることから、いわき市の森林整備の促進、林業の活性化につながると期待されています。当社では年間1500トンの製造を目標としています。

木質ペレット生産量の動向

◆木質ペレットについては、「特用林産物統計調査」により生産量を調査。平成28年における生産量は12万トンで、前年比0.5%増。沖縄県や岡山県、長野県など17県で、計1.2万トン増加する一方、宮崎県や秋田県など23道府県では、生産量が計1.2万トン減少。

◆生産量の上位5県は、岡山 (※製材残材中心)、沖縄 (※建設発生木材中心)、宮崎 (※丸太・林地残材中心)、北海道、秋田 (※製材残材中心)。

◆他方、平成28年における木質ペレットの輸入量は、対前年比1.5倍の34.7万トン。主にカナダとベトナムからの輸入が増加。木質ペレットの自給率は前年比8ポイント減の26%へ下落。

◆燃料用のPKS (ヤシ殻) の輸入も急増。平成28年の輸入量は76万トンで、木質ペレット輸入量の倍以上。主な輸入先国はインドネシアとマレーシア。

都道府県別木質ペレット生産量と利用量

福島県、沖縄県が木質ペレット (輸入含む) を大量に利用しており、用途は主に火力発電所への混燃利用。生産量は、岡山県、宮崎県、沖縄県で突出して多いほかは、全般的に東北、北陸等の寒冷地や四国・九州で多い傾向。

出席状況	正会員数	50名	カード出席	6名
	本日出席会員数	36名	本日の修正出席率	80.00%